



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和7年7月23日発行

電話 811-6773 FAX 813-9438

いざ、秋葉祭

校長 柿崎 順子

各学年の校外行事、体育祭、そして中間テスト、生徒総会と大忙しの3ヶ月が過ぎ、一年生は中学生らしく、二年生は先輩らしく、そして三年生は最高学年として成長の姿を見せてくれています。そして、10月に行われる秋葉祭の準備が始まっています。

「秋葉祭」と学校名がついていることからわかるように、本校にとって大事な行事です。

秋葉祭では、クラス発表について「選択制」をとってきていましたが、例年、2,3年生は劇を選択して取り組んできました。しかし、劇をつくりあげるためには、非常に多くの時間がかかり、授業時間内でおさまらないこと、役割によって関わり方に大きな差が出てしまうこと、劇そのものの完成度をあげることが難しくなっていることなど、様々な課題も顕著になってきておりました。

そこで「すべての生徒が安心して力を発揮できる秋葉祭にするには・・・」「教育課程上の活動として、限られた時間内で取り組めるものにするには・・・」等を考えた結果、令和4年度に、今後は全学年で合唱に取り組むこととし、令和5年度の一年生から全クラス合唱に取り組み、令和6年度には、芸術鑑賞として合唱の団体をお呼びしました。そして、いよいよ今年度の一年生からは三年間合唱に取り組むこととなります。(生徒には7月18日の全校集会で秋葉祭担当から伝えました。)

合唱はすべての生徒がステージにあがり、等しく表現の担い手となります。歌の得意な人だけが目立つのではなく、一人ひとりが力を十分に発揮し、全員の声为重なりあってこそ完成する表現です。

また、劇は役割によって生徒一人ひとりの関わる時間や労力の差が大きくなりがちですが、合唱では全員が同じ方向を向いて、歌そのものに集中できます。一見シンプルだからこそ、どんな歌を選び、その歌をどのように歌うか、などを自分たちでより深く考え、工夫して創り上げることができるはずです。

一年生には「劇ができない」ではなく、合唱だからこそできる表現、クラスの力、心の成長に出会える秋葉祭を目指して、自分たちから新たな秋葉祭を創り上げていくんだという気概をもって取り組んでほしいと思っています。

これまで選択制をとっていた2,3年生については、いきなり「今年から合唱です。」と言われてもとまどうと考え、選択制を継続します。しっかり考えて選択し、取り組んでほしいと思っています。

いずれにせよ、秋葉祭を通じて

自主:自分の役割に責任をもち、自ら考えて行動すること

創造:自分たちらしい表現を工夫して創り出すこと

共生:互いを認め合い、仲間と思いをひとつにすること

といった、学校教育目標につながる活動を目指すことに変わりはありません。

子どもたちが、今年の仲間としか創り上げられない表現に自分たちなりに挑戦し、誰一人取り残さず「やってよかった」と思える時間を過ごせるよう取り組んでまいります。保護者、地域の皆様におきましては、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。